

2025年2月13日

報道関係者各位

ライトソース bp、日本市場に参入 - 初の再生可能エネルギープロジェクトを開始

再生可能エネルギーの開発と運営におけるグローバルリーダーであるライトソース bp（本社：英国ロンドン、CEO：ホアキン・オリベイラ）は本日、北海道で 15MWp（メガワットピーク）の太陽光プロジェクトを取得し、日本市場への戦略的参入を発表いたしました。本プロジェクトは、当社にとってアジア太平洋地域における事業拡大を意味しており、グローバルな専門知識を活用して日本のエネルギー移行を支援するものです。

日本市場への参入は、当社がアジア太平洋地域における成長戦略を推し進めるうえで重要な一步であり、同地域でのさらなる発展の基盤となるものです。当社のオーストラリアにおける大規模な太陽光発電事業資産の開発・建設、またニュージーランド、台湾、韓国での事業拡大は、現地のニーズに合わせたソリューションを提供しながら効果的に事業を拡大する当社の能力を証明しています。

日本の再生可能エネルギー戦略は、脱炭素化とエネルギー多様化に向けた幅広い取り組みの一環として、太陽光発電容量の増加を目指しています。世界中で複雑な再生可能エネルギー開発してきた実績を有する当社は、現地のステークホルダーとの強力なパートナーシップを育むことで、日本市場でのエネルギー移行に向けた取り組みを支援するのに適した立場にあります。

ライトソース bp のアジア太平洋地域 最高執行責任者であるアダム・ペッグ（Adam Pegg）は、次のように述べています。「日本市場参入は、同地域のエネルギー移行に貢献するという私たちのコミットメントの表れです。世界各地での経験と日本国内でのパートナーシップを融合させることで、日本の再生可能エネルギー目標を支援し、強力かつ持続可能な再生可能エネルギープロジェクトのパイプラインを構築することを目指しています。本プロジェクトは日本での事業の始まりに過ぎず、日本における低炭素社会の実現をサポートできることを楽しみにしています。」

同氏はまた、「グローバル企業として成功を収めるには、協力関係を育み、共働するコミュニティに対して長期的な価値を創出していくことが不可欠です。私たちは、日本において経済、環境、地域社会、そしてパートナー企業に共通の利益をもたらすパートナーシップを構築することを約束いたします。」とコメントしました。

日本市場参入により、当社が世界で事業を展開する市場は 19 から 20 に拡大し、再生可能エネルギー分野における主要企業としての地位がさらに強固なものになりました。当社は 58GW（ギガワット）を超える進行中および初期段階の太陽光発電開発パイプラインを世界中で有しており、そのうち約 8GW はアジ

ア太平洋地域におけるものです。当社は、特に大規模なユーティリティ太陽光プロジェクトにおける豊富な経験を有する開発事業社として、経済的かつ環境的な利益を世界規模および地域規模で生み出す持続可能なエネルギーソリューションを、引き続き提供してまいります。

###

ライトソース bp について

当社は、ユーティリティ規模の陸上再生可能エネルギーおよびエネルギー貯蔵ソリューションの開発と運営におけるグローバルリーダーです。当社の目的は、世界中の企業やコミュニティに対して、手頃な価格で持続可能な電力を提供することです。当社のチームは、世界 20 の市場で活躍する 1,200 人以上の業界専門家で構成されており、プロジェクトの初期段階におけるサイト選定から、資金調達、許認可取得、さらには長期的なプロジェクト管理や電力販売に至るまで、プロジェクト開発の全範囲にわたるソリューションを提供しています。

ライトソース bp は、2024 年に bp によって買収されました。詳細については[こちら](#)をご覧ください。

より詳細は lightsourcebp.com、[X](#) および [Instagram](#) のアカウント、もしくは [LinkedIn](#) ページをご覧ください。

本件に関する報道関係のお問い合わせ先

ライトソース bp 広報代理店 : Kekst CNC

担当 : 田辺 圭弥

Email : kaya.tanabe@kekstcnc.com